



五和

上野原西小学校 学校だより 文責 森 卓弥
令和8年2月25日 No.10 TEL 66-3922

学校教育目標

- よく考える子
- 自他を尊重し思いやりのある子
- ねばり強い子
- 心身ともに健康な子

地域の成り立ち・コモアしおつの町づくりについての学習

1月26日（月）と2月6日（金）の2回にわたり、4年生が「地域の成り立ち」をテーマに、コモアしおつの町づくりについて探究的な学習を行いました。

1回目の1月は、地域の方々やコモアしおつの開発に関わった積水ハウス株式会社の方、さらに大分大学の先生を講師にお迎えし、野外学習を実施しました。実際に町を歩きながらお話を伺うことで、資料だけでは分からない町づくりの工夫や歴史的な背景などについて具体的に学ぶことができました。子どもたちは、自分たちの住む地域がどのような思いや計画のもとにつくられてきたのかを知り、理解を深めていました。

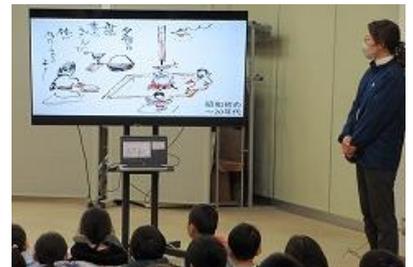
2回目の2月は、前回の学習を振り返りながら、町づくりについてさらに詳しく学びました。講師の方々と対話を重ねたり、クイズを考えたりする活動を通して、学んだことを整理し、自分の言葉で表現する姿が見られました。



3年生 昔の道具から当時の生活を知る!

3年生の社会科「昔の道具」の学習では、上野原市社会教育課の皆様のご協力のもと、昔の生活で実際に使われていた道具を学校へお持ちいただき、上野原での暮らしの様子について学びました。当日は、社会教育課の皆様から特徴的な道具を一つ一つご紹介していただきながら、当時の生活の様子や人々の工夫、知恵について詳しく教えていただきました。子どもたちは、本物の道具に実際に触れることで、その重さや形、使い方を体感し、教科書だけでは得られない学びを深めることができました。昔の人々の暮らしの大変さや工夫に気付き、現在の生活との違いについても主体的に考える姿が見られました。

貴重な資料をご準備くださり、丁寧にご指導くださいました上野原市社会教育課の皆様へ、心より感謝申し上げます。



パソコンの入れ替え作業!

来年度、子ども達に貸し出されるパソコンの入れ替え作業が行われました。子どもたち一人一人の学びがさらに充実し、主体的・対話的で深い学びにつなげていきたいと思ひます。



それぞれの思いが伝わる6年生を送る会でした！

20日、お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えようと実行委員さんを中心に6年生を送る会が行われました。テーマは、「笑顔満開！！ 夢に向かって走り出せ」です。1・2年生からは、ドラえものすてきな踊りのプレゼント、3年生からは、呼びかけや花笠音頭の踊りと笠裏のメッセージ、4年生は、「心をひらいてつながり、その中から「未来」が生まれていく内容の歌とメッセージ。5年生は、寸劇とダンス、そして、6年生との思い出のソーラン節の波を力一杯踊ってくれました。そして、6年生からは、各学年に向けた応援メッセージとすばらしい歌声をいただきました。どの学年もそれぞれの思いが伝わるすばらしい発表でした。6年生の背中を追いかけながら成長してきた1年生から5年生の、これからの姿がとても楽しみです。

1. 2年生



3年生



4年生



5年生



6年生



実行委員



今年度最後の学校運営協議会！

今年度最後の学校運営協議会が20日（金）に行われました。西小の教育活動は、これまで多くの地域の皆様に支えていただいています。心より感謝申し上げます。また、「子ども達に学校をもっと好きになってもらうために、地域の皆様にどのように関わっていただけるか」について、話し合いを進めてきました。今後は、保護者や地域の皆様に学校へ足を運んでいただくとともに、「学校運営協議会」がどのように学校教育を支えているのかを知っていただきたいと考えています。そして、その取組にご賛同いただいた方々が、子どもたちの学びや活動に関わっていただけるよう、引き続き工夫しながら取組を進めてまいります。



校長室での独り言

7月号でも書いたあいさつの話です。先日、出勤が遅くなった際、私の住む地区の小学生が横断歩道を渡ろうとしている場面に出会いました。私は車を止めて横断を待ったところ、子どもたちは渡り終えた後、深々とお辞儀をして感謝の気持ちを伝えてくれました。また、本校の児童についても、「横断歩道で車を止めてもらった際に、大きな声で『ありがとうございます』と言い、深くお辞儀をして感謝の意を表してくれました。」という、地域の方から温かいお話をいただいております。

子どもたちが、地域の中でも進んであいさつや感謝の気持ちを表している姿を大変うれしく思います。言葉にしなくても「お辞儀」という行為で気持ちを伝える文化は良いものだと思います。

